

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

KOEKI（交易と公益）のまち・酒田推進事業

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

山形県酒田市

### 3 地域再生計画の区域

山形県酒田市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

##### 1. 観光客入込み数の減

本市は他地域に対してPRできる素材はあるものの、本市の観光客の入込数は下降傾向である。山形県観光者数調査によると、本市のほか1市3町を含んだ庄内エリア全体の観光客の入込み数は、平成24年の1233.9万人から平成28年には1415.4万人と15%上昇しているのに対し、本市の観光客の入込み数は、平成24年297.7万人から平成28年には296.8万人と、0.3%減少している。

##### 2. 観光マネジメント組織の不在

本市では観光振興を前面で推進するための大規模なイベント開催については、実行委員会を組織し実施しているが、担い手の不足、中枢人材の高齢化により、新たな発想が生まれにくく、イベント内容が固定化している傾向にある。また、現在の組織体制では、イベント開催するだけが限度で、観光ツアーの組み立てなどの観光マネジメントができていない。

##### 3. 魅力的なまち歩きエリアと日本遺産構成文化財を、説明できる施設の不在

平成29年度に本市が申請自治体となっている北前船寄港地船主集落での日本遺産認定を受けており、市内中心部に点在する11個の構成文化財があるが、公の施設や民間の施設が混在しており、例えば複数の施設で連携した企画展を行うなどの、横連携が図られていない。また、個々の施設の中のストーリーはあるものの、個別のそれらの構成文化財を複数個所、周遊してもらう仕組み、まち歩きをしながら、文化財を周遊してもらう上で、お金を消費してもらう仕組みが不足している。さらに、構成文化財の一つである日和山公園は市内中心部から港寄りに小高い丘となっており、立地上、酒田市のランドマーク的な存在である。また、園内には日本最古級の六角灯台や方角石、常夜灯が現存し、市内中心部と港、最上川河口を一望できる日和山公園は北前船寄港地と酒田の発展の歴史を一箇所で語るができる場所であり、本市の構成文化財上、重要な位置付けとなっているが、公園に訪れた観光客が立ち寄りたり、現地で日本遺産構成文化財を紹介する場所が無いなどの課題を抱えている。これらを解決するために酒田の観光を楽しんでいただくための中核施設が必要である。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

##### 【概要】

##### 【各計画の中での位置付け】

・酒田市では平成27年度に策定した「酒田市中長期観光戦略」、平成30年度に刷新した「酒田市総合計画」及び山形県ともに地域未来投資促進法により策定した「山形県観光分野基本計画」に基づき、インバウンドを含む観光誘客事業や都市間交流による交流人口拡大による消費の増大を図り、少子高齢化、人口減少により地域経済が縮小していく現状に歯止めをかけ、賑わいのある地域づくりを目指していくこととしている。

## 【現状】

●酒田市では平成28年度に「鳥海山・飛島ジオパーク」の認定、平成29年度に「北前船寄港地船主集落」が日本遺産認定を受けた。また、16万トン級の船舶の入港できる港の整備も平成28年度に完了し、国内外のクルーズ船の入港は、平成27年度の4回（うち外国クルーズ船は0回）から平成29年度には6回（うち外国クルーズ船は1回）と増加し、インバウンドも含め、交流人口の拡大を図るための絶好の時期であると考えている。「鳥海山・飛島ジオパーク」を構成している鳥海山は、日本海から立ち上がる独立峰で、日本100名山にも数えられている。登山シーズンには多くの登山客で賑わうが、山中には希少動植物の生息なども確認されている。また、鳥海山からの伏流水ではぐくまれる農産物や海産物は、これまで地域に住む人々の生活を支えてくると共に、農業、漁業などの一次産業の振興に大きく寄与してきた。さらに、旧来から、地域の山岳信仰の対象となるなど、地域の景観や生活、文化に密接に関係してきた山である。また、山形県唯一の離島である飛島は、漁業と観光が主な産業であるが、過去には庄内近郊の漁業者が移り住むなど、山形県漁業の最前線の島であった。近年では過疎化が加速的に進んでいるが、離島であることから、島特有の植物が群生していたり、300を超える種類の渡り鳥の中継地となるなど、人工的な開発を逃れ、自然本来の姿が残っている。一方、日本遺産に認定された北前船が酒田港に入港する際の悪天候時の避難港になっているなど、本土の港との密接な関係性があつた痕跡が今も残っている。

本市郊外に広がる広大な庄内平野は全国屈指の良質な水稻の生産地であり、それが、北前船の寄港地となった最大の理由でもある。近年は果樹や畑作の栽培も盛んで、在来野菜も数多くの種類が残っている。本市はこういった類稀な自然環境、それとあいまって、中心市街地に残る北前船で栄えた港町文化や贅を尽くした料亭、豪商の建物などの旧来から引継がれてきた港町文化（商人文化）や各集落に残る伝統芸能や神仏を敬う祭事、地域色豊かな郷土食などが残る農村文化、さらに関西方面から流入した京文化では、現代まで受け継がれてきた雛人形が多く現存していたり、茶道や華道などが盛んであったり、方言に関西との共通性があつたりといった京文化が現在に受け継がれているなど、様々な文化が融合した魅力的な街となっている。併せて、海の物、山の物、農産物も豊富なことから、独自の食文化も発展してきた。地場産作物をアレンジした「農家の家庭料理」、出汁にこだわった「関西文化と融合した料亭料理」、「新鮮な食材をふんだんに使った酒田フレンチ」、「魚介だしと自家製麺、薄皮ワンタンなどが特徴の酒田ラーメン」など、軽食から高級料理まで様々な「食」を楽しめるエリアである。

## 【酒田市の強み】

●日本ジオパーク「鳥海山・飛島ジオパーク」については、鳥海山を中心とした4自治体と連携し、ジオパークの魅力と自然保護の重要性などを広くPRしており、地元では地域の自然保護活動や小中学生の自然学習、専門ガイドの育成及びガイドによる機運醸成なども実施している。日本遺産「北前船船主集落」でも38自治体での連携事業も多数行っており、今後も構成自治体は増える見込みとなっている。また、市中心部には北前船が隆盛を極めた時代に建築された豪商の邸宅や別邸、町屋づくりの廻船問屋、贅を尽くした材を使った料亭などの建物、船の安全を祈願した寺社仏閣などがコンパクトなエリアに集約されており、街歩きが手軽に楽しめるエリアとなっている。「食」では郊外に広がる庄内平野で生産される米を中心に、大豆、枝豆、ねぎなどの野菜、ストックやトルコ桔梗などの花き、庄内柿や梨などの果樹の栽培、養豚なども盛んであるとともに、イカやカレイ、サワラ、ズワイガニなどの海産物も多く水揚げされている。春や秋には山菜なども多く収穫され、まさしく海のもの山のもの、農産物が豊富で食の都と呼ぶにふさわしい地域となっており、これらの新鮮な材料を活用した「料亭料理」、「江戸前寿司」、「酒田フレンチ」、「酒田ラーメン」などの地域の食文化につながっている。さらに、山形県は日本酒によるGIを取得しており、まさしく日本酒県となっているが、本市でも7つの蔵元があり、平成30年度のIWC（インターナショナルワインチャレンジ）SAKE部門で酒田の蔵元の酒が、本醸造の部及び純米吟醸の部の2部門で最高賞のトロフィーを受賞した。もっとも優れた蔵元が受賞するブルワリーオブザイヤーについても酒田の蔵元が受賞し、まさしく酒田の「酒」は世界で高く評価されてきている。イベントとしては、東北随一の展開幅を誇る「酒田花火ショー」は展開幅2km、1万2千発の花火が夏の夜空を彩る様は圧巻である。20万人を超える市民、観光客の皆さんが毎年楽しみにしているイベントで、本市においても最も集客力のあるイベントとなっている。

## 【目指す将来像】

・こういった本市の強みである「食」、「酒」を活かし、中心街地に魅力あるまち歩きエリアをつくり、市民や観光客でにぎわうまちづくりを目指す。また、周辺市町村と連携（庄内エリアや環鳥海エリア、北前船関連自治体など）しつつ、イベント等を効果的に開催し、はじめに酒田に訪れていただき、酒田の良さを実感していただき、リピーターとなってもらうことにより、交流人口の拡大、観光による経済基盤の強化を図る。

【数値目標】

K P I ①	日本遺産構成文化財 施設入込み数（山王くらぶ、相馬屋、本間家別邸、本間家本邸、山居倉庫）							単位	千人
K P I ②	日和山公園周辺観光施設入込み数（さかた海鮮市場、さかたみなと市場、海向寺、白崎医院、光丘文庫、旧割烹小幡）							単位	千人
K P I ③	酒まつりチケット等販売金額（イベント）							単位	千円
K P I ④	酒田花火ショー有料席販売金額（イベント）							単位	千円
	事業開始前 （現時点）	2019年度 増加分 （1年目）	2020年度 増加分 （2年目）	2021年度 増加分 （3年目）	2022年度 増加分 （4年目）	2023年度 増加分 （5年目）	2024年度 増加分 （6年目）	K P I 増加分 の累計	
K P I ①	753.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	-	100.00	
K P I ②	555.00	5.00	5.00	15.00	15.00	15.00	-	55.00	
K P I ③	0.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	-	10,000.00	
K P I ④	835.00	750.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	-	4,750.00	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生推進タイプ（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

KOEKI(交易と公益) のまち・酒田推進事業

③ 事業の内容

【全体像】

観光分野における交流人口の拡大と消費の増大を図るため、日本遺産「北前船寄港地船主集落」と「鳥海山・飛島ジオパーク」、「クルーズ船受入」の3本の柱とそれらに付随する「食」「酒」をPRするため、観光産業を活性化させるための新組織の設立、新組織による日本遺産構成文化財回遊の仕組みづくりとイベントの企画運営、日本遺産構成文化財PR施設の整備を実施する。具体的には以下の取り組みを実施する。

1. 観光産業を活性化させるための新組織の設立及びイベント等の観光事業の実施

●観光産業を活性化させるための新組織への支援

新たな組織「酒田観光戦略推進協議会（地域経済牽引事業者）」を官民共同で平成31年3月を目処に設置する。新組織は誘客を拡大するためのイベント等の企画運営及び市内中心部に点在する11箇所の日本遺産の構成文化財や10箇所のジオサイトなどを回遊してもらうための仕組みづくり、Web媒体等で本市を対外的にPRする取り組み等を実施し、観光客増加を図るための牽引的な役割を担ってもらい、本市観光事業を展開する上での中枢組織として位置づける。また、2022年には、組織のDMO機能をより高めるため酒田観光戦略推進協議会の後継である「一般財団法人酒田DMO」を立ち上げ、2023年度からは事業実施も移行する。

・観光分野事業者に対するイベントの企画、運営に対する支援（H31年度～R5年度）

(官民共同で観光産業を牽引する予定。)

※実施イベント

○酒田まつり ○酒田花火ショー ○酒の酒田の酒まつり ○酒田雛街道 ○北前船寄港地フォーラム開催 など

2. 日本遺産構成文化財(日和山公園)PR施設の整備

●旧割烹小幡整備事業

日本遺産の構成文化財(日和山公園)に隣接している旧料亭割烹小幡については、平成29年度の調査により、明治中期の建築物で、昔から火事の多かった本市に現存する木造建築の中でも、上位で古い建物であり、本市の中でも3本指に数えられる料亭であった。板垣退助などの著名人も多数宿泊した記録も残っており、トラス構造などの手法の活用など、建物自体が文化的、歴史的な価値が高いものとした調査結果となっている。さらに2009年のアカデミー賞外国語映画賞を受賞した「おくりびと」のロケ地としても使用され、現在も外観を觀に来る観光客も数多い。しかし、老朽化や耐震性の問題があるため、館内の観覧は不可となっている。当事業により建物を改修し、老舗料亭としての雰囲気も残しつつ、酒田の「食」を提供するためのレストランや日本遺産構成文化財である日和山公園を訪れた観光客が立ち寄り、買い物や休息をし、本市の歴史、文化にふれられる施設として整備する。

・建物の改修及び外構整備(H31年度～R3年度)

【交付金申請外の関連事業】

●このほか、関連して実施する事業として、鳥海山・飛島ジオパーク推進事業により、相乗効果を図る。

●各種イベントについて近隣市町村に参加を呼びかけるなどの取り組みを実施する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

酒田観光戦略推進協議会は、イベント開催や市内観光施設等の情報発信が主な任務となる。イベントは企業協賛や寄附なども求めることから、原則実行委員会を組織し事業を実施する形になるが、当組織が事務局を担い、イベントを開催する。当面自主財源は市からの一般財源での負担金でまかなうこととするが、各イベントの有料席等の収入を増加させ、持続性のあるイベント開催を目指す。

【官民協働】

酒田商工会議所、酒田観光物産協会、酒田青年会議所、各協賛事業所及び市が一体となって、それぞれの団体等がこれまで蓄積してきたノウハウでイベント等の事業を実施する。日本遺産構成文化財については、公共施設、民間施設が入り混じっていることから、それらの連携を図り、回遊性を高める調整を当組織が行うことにより、本市観光ルートが目玉としての成長を促進させる。

【地域間連携】

日本遺産「北前船寄港地船主集落」は全国38の自治体で構成されている日本遺産である。年に複数回行われる北前船寄港地フォーラムは毎回1500人規模のイベントになっている。今後各地域との情報交換及びガイドブックなどの協同制作などを実施する。

【政策間連携】

中心市街地に点在する日本遺産構成文化財を繋ぎ、魅力ある回遊ルートをつくることで観光産業の振興を図る。また、日本遺産構成文化財である日和山公園近隣にある旧割烹小幡を新たな観光拠点として整備することで、公園周辺の賑わいをつくり、交流人口の拡大を図る。加えて、整備する施設は、後世に引継ぐべき価値ある建築物であり、新たな観光拠点として整備することにより、老朽化に歯止めをかけることができる。

## 【デジタル社会の形成への寄与】

### 取組①

該当なし。

### ⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

### ⑥ 評価の方法、時期及び体制

#### 【検証時期】

毎年度 9 月

#### 【検証方法】

まち・ひと・しごと創生総合戦略委員の中から交付対象事業の評価を行う委員を委嘱し、進捗状況等の確認・効果検証を実施していく

## 【外部組織の参画者】

まち・ひと・しごと創生総合戦略委員（大学、高等学校校長会、農業協同組合、県漁業協同組合、商工会議所、商工会、NPO法人、新聞社、銀行、一般企業等の代表者等）から委嘱予定

## 【検証結果の公表の方法】

検証資料及び検証結果については酒田市ホームページで公表する。

### ⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 466,386 千円

### ⑧ 事業実施期間

2019年4月1日 から 2024年3月31日 まで

※企業版ふるさと納税との併用による事業実施期間延長適用

### ⑨ その他必要な事項

特になし。

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 該当なし。

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2024年3月31日 まで

## **7 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

### **7-1 目標の達成状況に係る評価の手法**

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

### **7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容**

4-2に掲げる目標について、5-2の⑥の【検証時期】に7-1に掲げる評価の手法により行う。

### **7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法**

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。